

目であつた。輕尻の駄賃は本馬の約六分に當り、人足は本馬の五分に當る賃錢を受けた。本馬の駄賃は一町に付き錢一文一分又は一文二分等時代によつて異なる。能登の奥郡には驛馬がなかつたから、必要の場合には駄馬を便役し、その駄賃は口郡よりも稍高價であつた。

ホンマチ 本町 ↓カナザハ 金澤(八、本町と地子町)。

ホンマドノマチ 本間殿町 金澤の舊町名。龜尾記に、昔本間左近の宅地があつた、めに町名となつたと記する。又一説には、昔本間助九郎が此の附近に居住したから本間殿町といふので、今の野町一丁目の小路を助九郎町と呼ぶも其の故であるともいふ。左近及び助九郎に就いては明らかでない。明治四年四月戸籍編成の時、改めて本馬町とした。

ホンママチ 本馬町 ↓ホンマドノマチ 本間殿町。

ホンマル 本丸 金澤城の本丸は、もと一向宗金澤御坊のあつた地であり、天正八年佐久間盛政の入城後、十一年前田利家の入城後も皆その寺院に居た。慶長六年利常の夫人江戸から入興するを以て新殿を造營したが、これより前既に利家・利長の居館が設けられて居たらうと思はれる。然るに翌七年十一月晦日雷火天守を焚き、殿閣も亦焼亡し、次いで元和六年十一月廿四日長局の失火によつて再び災に罹り、七年正月工を起し、四月成りて移徙の儀を行つた。寛永八年四月十四日城下の火災に又延焼したので、本丸の地風威猛烈館を築くに適せざるを思ひ、幕府の許可を得て二、丸に工を起し、翌九年に至つて成つた。

この後本丸には三階櫓・數寄屋(寶曆九年まで)及び倉庫等を有するのみであつた。

ホンマルカフモン 本丸唐門 金澤城本丸の附段から東、丸へ入る假門をいうた。寛永八年焼亡以前藩侯が本丸に居館した頃は、結構を盡くした唐門があつたが、その焼失後再造せられなかつたのである。

ホンマルテツモン 本丸鐵門 金澤城本丸下の附段から本丸へ登る入口の正門で、寛永八年火災以前藩侯が本丸に居館した頃は、鐵の板金を以て柱・扉等を包んだ樓門があつたから、後世までその址を鐵御門と呼んだ。

ホンマルブタイアト 本丸舞臺跡 金澤城本丸鐵門の門前である地で、有澤武貞の金澤細見岡餅に、昔前田利常夫人在世の時は本丸に住したが、其の頃歌舞伎を行ふ爲に假舞臺を建て、櫓から觀覽した。その舞臺の遺址であるといふ。

ホンシヨウジ 本妙寺 金澤野田寺町に在つて、玄秘山と號し、日蓮宗に屬する。元和九年越中高岡本陽寺の弟子圓重院日覺がこゝに創建したもので、開基且那は前田利長に仕へた中將といふ女中であつた。

ホンシヨウジ 本明寺 能美郡橋に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十二年六月寺號の公稱を許された。

ホンシヨウジ 本明寺 石川郡美川に在つて、眞宗東派に屬する。明治十二年七月寺號の公稱を許された。

ホンムラ 本村 鳳至郡白米の内の小字。ホンムラ 本村 鳳至郡白米の内の小字。ホンムラ 本村 鳳至郡白米の内の小字。

ホンムラ 本村 鳳至郡白米の内の小字。

ホンムラ 本村 鳳至郡正院郷に屬する部落。光榮寺の鐘銘に若山郷藏見村とするもの是である。能登名跡志に『本村。寺家より一里六町。散村になりて山中に在り。雲津より山中へ入りて、正院よりの本道也。此村は、本村とは中古よりの名にて、近郷のものと村故名に呼べり。元は鞍見村といひし也。』と記する。

ホンヤク 本役 ↓カナザハ 金澤(八、本町と地子町)。

ホンラクジ 本樂寺 河北郡森に在つて、眞宗東派に屬する。

ホンリユウジ 本龍寺 能美郡小松地子町に在つて、眞宗東派に屬する。初め同郡粟津村に居り、寛永十八年小松細工町に移り、大正四年更に今の所に轉じた。

ホンリユウジ 本龍寺 石川郡金石に在つて眞宗東派に屬する。寺記に、越中彌波郡井波瑞泉寺四代蓮欽が文明元年退隱後同郡梅原村鶴山に一字を創建して、之を本龍寺と號し、子孫賢勝・玄員を経て、賢懸に至り慶長七年今の地に轉じたとある。

ホンリユウジ 本龍寺 鹿島郡七尾に在つて、眞宗東派に屬する。

ホンリユウジ 本龍寺 珠洲郡宇治に在つて、眞宗東派に屬する。ホンリユウジ 本龍寺 珠洲郡宇治に在つて、眞宗東派に屬する。

つて、眞宗東派に屬する。

ホンリユウジ 本立寺 河北郡谷に在つて、眞宗東派に屬する。明治二年八月寺號の公稱を許された。

ホンリユウジ 本立寺 羽咋郡福井に在つて、眞宗東派に屬する。

ホンリユウジ 本兩寺 鳳至郡小間生に在つて、眞言宗に屬する。古へは鴨川に在つて、住吉社の別當であつたといふ。

ホンレンジ 本蓮寺 能美郡小松細工町に在つて、眞宗東派に屬する。本願寺派諸寺系圖に、結如の子越前藤島超勝寺頓圓鸞藝、妻室と不和を退き、能美郡粟津に隣る江沼郡戸津に本蓮寺を建て、住し、その二男蓮覺周惠(又周慧に作る)、其の子蓮惠、その子言惠、その子慶心相繼ぎ、後に津波倉に住したとある。永祿九年本蓮寺は小松濱田町に移り、天正十三年二月九日村上周防頼勝から濱田の内六段の地を寄進せられ、その寄進狀は今に存する。次いで萬治中教惠の時前田利常から今の寺地を受けた。明治十一年車駕北巡の時、本寺を行在所に當て給うたことがある。

ホンレンジ 本蓮寺 河北郡深谷に在つて、日蓮宗に屬する。山號は金澤山。永正元年京都本國寺日朝の再興する所といふ。

ホンレンジ 本蓮寺 河北郡加茂に在つて、眞宗東派に屬する。明治二年八月寺號の公稱を許された。

ホンノドリ 盆踊 盆踊の歌詞には段物と端物とがあつた。段物は著名な事件を取扱つた長編であるが、加賀・能登では僧徒が念佛讚嘆の爲にした歌喜嘆、御經盡・淨土道行の如きものもあつた。端物は十六音を基調とする